

静測協図書館 論文 募集要項

(一社)静岡県測量設計業協会では、令和3年度から会員を対象に論文の発表の場を提供し、会員の技術等の向上と継承につなげていきたいと考えております。

このため、誰もが利用することができるよう、当協会ホームページ内に「静測協図書館」(以下「協会図書館」という。)を開設して、審査を経た論文を掲載します。なお、「協会図書館」は当協会のホームページ内右側の「図書館」をクリックすると、どなたでも見ることができます。

また、優秀な作品を表彰して機関誌「静測協202×新年号」に掲載します。

なお、作品が掲載された場合、申請するとCPD単位を取得することができます。

つきましては、会員・職員の皆様には、業務やその他の活動での創意工夫等をまとめていただき、積極的に応募していただくようお願いします。

1. 応募要件

執筆者は、会員又はその職員であり、個人または複数人の連名とします。

執筆者自らが著作した論文に限ります。

執筆内容が受注した業務に関わるものは、発注者等の了解を得て下さい。また、既に他団体等で公表したもののでもその団体等の了解を得たものや、社内での研究発表したものも応募できます。

2. 論文内容

建設関連分野の測量（用地測量含む）・設計・補償等の業務等において創意工夫・改善、調査・研究・技術開発等を行い、他の会員の参考になるようにまとめたものを対象とします。

3. 応募方法等

(1) 応募方法：当協会事務局あてにメールで応募する。

メールアドレス:jimukyoku@seisoku.or.jp

送付文の題名は、「令和 年度 静測協図書館の応募について」

提出物は、申込書（指定様式1）と原稿（指定様式2）のワード原稿とPDF化したもの

(2) 募集期間：毎年4月1日から9月30日まで（9月30日必着）

(3) 応募数について

主執筆者、共同執筆者にかかわらず、一人2件までの応募とします。

同じ会員の方からの応募は、一社あたり 8 件までとします。

(4) 原稿について

a. ページ数

論文…指定様式2に従いわかり易い図（写真含む）・表をいれて、全体でA4版用紙4枚以内。※全体で図・表を含み3,200～4,000文字程度
但し、図表の分量は各ページの半分以上とします。

b. 構成

原則として以下の①～④の構成にしてください。

- ① はじめに（概要を含む）
- ② 課題・問題点（報告の場合は③と合わせても可）
- ③ 対応策・工夫・改善点と適用結果
- ④ おわりに（他の現場への適用条件、今後の留意点など）

c. 概要（指定様式1の申込書に記載）

論文の部門・分野の選択と概要を100字以内で記述してください。

d. 原稿様式

Wordで作成して、ワードの原稿とPDFに変換してものを提出してください。

文字の大きさや行数、図表の表示については、当会ホームページの専用ページ「協会図書館」から指定様式をダウンロードしてこれを使用してください。原稿の容量は15MB以内とします。

2段組みのMS明朝10,5ポイント、22文字×39行（1ページ目は28行）が目安です。

(5) その他

論文中の商品名の記載は排除しませんが、商品名の宣伝や誹謗の意図が明確なものは認められません。

図表及び本文を引用した場合は、当会への提出前に必ず出典元許可を事前に得て、発注者への確認をお願いします。

(6) 著作権について

① 本著作財産権は、本著作者が論文・報告を応募しても、当会に譲渡されません。

② 著作者自らが著作物の全文、または一部を複製・翻案などの形で利用する場合、当会
は原則として、その利用を妨げません。

また、図書館の作品を参考に活用する場合、自己責任でお願いします。

4. 受理

(1) 応募された作品は、設置した審査会において、本募集要項に適合し「協会図書館」に収蔵すべきものかを判断します。

審査会を通過したものについて、受理したものとします。なお、内容によっては、審査会から修正等お願いすることがありますので、ご理解ご協力をお願いします。

(2)受理された論文は、順次「協会図書館」に収蔵して誰もが閲覧できるようになります。

但し、如何なる段階においても収蔵できない理由が出てきた場合には、緊急時を除き審査会を経て削除します。

5. 表彰

毎年度、受理した論文の中から審査会が優秀作品を選定し、理事会の承認を経て5月の総会等において表彰と賞品を贈ります。また、協会機関誌「静測協202×新年号」に掲載しますので、審査会がブラッシュアップをお願いすることがあります。つきましては、執筆者にはご協力をお願いします。

6. 審査（表彰）においては、以下の評価項目と着目点は以下のとおりです。

① 論理性

・目的・結果・今後の課題が明確etc

② 創意工夫

・従来技術の応用、内容の新規性、手法の独創性等c

③ 市場性

・時宜を得ている、社会的ニーズが高い、応用性があるetc

④ 貢献性

・県民や地域、当協会への貢献度が高いetc

その他としては、専門や分野を考慮します。

7 この要項は、審査会・理事会により改訂します。

令和3年4月6日 第531回理事会承認

令和4年2月24日 第540回理事会承認

令和5年2月24日 第550回理事会承認

令和5年12月6日 第558回理事会承認

令和7年12月3日 第579回理事会承認